

水俣病は叫ぶ

(16)

「当時の吉岡社長に言ったのは私だけだった。」

× × × × ×

新日窒をゆさぶった水俣病騒ぎで、組合の指導者だった長野氏が骨身を削ったのは間違いない。組合幹部にとっては、組合員の利益を守るために、まず企業を守る必要があったのだらう。

その長野氏が三十八年二月、会社から解雇された。三十七年の新日窒の春闘は、会社が持ち出した安売賃金制度をめぐる大闘争

わり込みをしたとき、天幕も貸してくれました。しかし、見舞い金獲得のキツカケをつくれたのは、不知火海岸漁民の工場乱入だったと思います」と言う。患者にとっても、労働組合は大きなささえにはならなかったのである。

組合幹部は、組合用語を駆使する。患者や漁民は、自分の体験で「総評が会社を攻撃するならば、われわれは総評を脱退する」といきました。このため新潟県総評の公

労組の立ち場

「長野さんが新日窒にいたんで、社会党も積極的に関わったんで、長野さんへへの遠慮から、党のスタッフした態度も打ち出せなかった」――社会党熊本本部副委員長、栗嶺、西島春雄氏の話。

長野春利氏。五十歳。西島氏と同じく県議で社会党熊本本部の副委員長。三十四年当時は日労労組連合会中央執行委員長で、同時に県議会水俣病対策特別委員会の副委員長だった。

工場公害の場合、その工場の労働組合は必ずしも被害者の味方にはならない。むしろ企業防衛の立ち場に立つて、被害者の敵になる

ことすらある。水俣の場合はどうであったか。不知火海岸の漁民が補償を要求してチッソ水俣工場（当時新日窒水俣工場）に大乱入した三十四年夏から、患者への補償問題が本格的に持ち上がった

出来なかった。工場排水を全面的にストップして来た漁民は、無差別投石で、組合員さえ負傷させた。このトラブルが漁民と労働組合との共闘をいっそう困難にした。

は工場排水を全面的にストップしと要求した。しかし化学工場では排水を止めると、工場の施設が物理的にこわれる。企業の存立が否定される。だから私は、漁民の要求に賛成しなかった。

会社は、水俣病の責任は会社にないとの建て前でコトを進めていた。だから、補償問題での寺本知事らのあせんをなかなか受け入れようとしなかった。しかし私

だ。二、三、四日間のストのあと熊本地労委のあせんで妥結したが、妥結の条件として会社が示したのは長野氏と江口政春水俣工場労組委員長の解雇だったのである。

長野氏解雇のいきさつはともあれ、水俣病問題で組合ははつきり結論が確立してはなくても、有機水銀中毒が発生したという社会的と漁協や患者の立ち場に立つたわけではなかった。水俣病患者互助会が初代会長選挙栗嶺氏を擁護した。一人何百円ずつのカンパ

患者の心くめぬ限界

前提に立つ企業意識

同年冬にかけての組合の事情を、長野氏は次のように回想する。

× × × × ×

水俣病問題に対する労組の基本的態度は①組合はこの紛争に積極的に介入しない②しかし病気の原因は工場にあると判断されるので、被害者には補償すべきだ、というものだった。

水俣病騒動で、私が会社の味方をしたように言う人がいるが、私としては、会社をつぶしてはいかんが、水俣病に対する責任は明確にして、会社は初めて存立し、繁栄すると思つた。このことを正面切

会社は、水俣病の責任は会社にないとの建て前でコトを進めていた。だから、補償問題での寺本知事らのあせんをなかなか受け入れようとしなかった。しかし私

だ。二、三、四日間のストのあと熊本地労委のあせんで妥結したが、妥結の条件として会社が示したのは長野氏と江口政春水俣工場労組委員長の解雇だったのである。

長野氏解雇のいきさつはともあれ、水俣病問題で組合ははつきり結論が確立してはなくても、有機水銀中毒が発生したという社会的と漁協や患者の立ち場に立つたわけではなかった。水俣病患者互助会が初代会長選挙栗嶺氏を擁護した。一人何百円ずつのカンパ

再掲されている。「かねて公害反対を唱える組合だが、いざとなったらたよりにならない」。新潟水俣病患者の中には、鹿瀬電工(元



チッソ水俣工場に乱入し、警察広報車まで奪った漁民(34年秋)

このような態度を組合がとったのは、一つには組合内部に企業組合の勢力があったからである。この勢力を組合執行部としても無視

事実に対して、会社は責任をとなねばいかんと思つた。会社が早くその態度を打ち出すことによ

情した組合幹部が患者の胸の中のものを十分くみ上げていたかどうかも疑問である。

水俣と同じことが、いま新潟で再掲されている。「かねて公害反対を唱える組合だが、いざとなったらたよりにならない」。新潟水俣病患者の中には、鹿瀬電工(元

害反対運動は限られただけになってしまったのだ。佐藤委員長は、労働組合員として組合は中立です」と言う。企業別組合の限界を示すことばだ。この限界は、新潟も水俣も全く同じである。